

別表第3

鉄筋コンクリート造の建物の耐力度調査票

予備調査者 株式会社 小林建築事務所  
一級建築士登録番号 第 号

I 調査学校		都道府県名 神奈川県		設置者名 松田町		学校名 松田小学校 ①-1管理教室棟 (普通教室棟)		学校調査番号 2001		調査期間 平成29年8月17日 ~ 平成29年9月3日		IV 学校種別 小学校		V 整理番号 1891					
II 調査建物		建物区分 校舎		棟番号 ①-1		階数 4		面積 一階面積 881 m <sup>2</sup> 延べ面積 3,344 m <sup>2</sup>		建物の経過年数 建築年 昭和48年 経過年数 44年		被災歴 状況 なし 被災年		補修歴 内容 大規模改修 補修年 平成元年					
III 結果点数												① 構造耐力 97点		② 保存度 50点		③ 外力条件 0.93点		耐力度 (A) × (B) × (C) 4511点	

構造耐力	保有力	① (a) 水平耐力 q		階	方向	垂直部材耐力 Q <sub>0</sub>	建物重量 W	層剪断力分布係数 A <sub>i</sub>	方向別水平耐力 Q <sub>0</sub> / (W <sub>i</sub> · A <sub>i</sub> )	判別式 q = q <sub>x</sub> × q <sub>y</sub> <sup>1</sup>	評点	評点合計		
		1	桁行 X	42320.0	44668.3	1.000	0.95	D10-@100 n=1.00	q ≥ 0.75 1.0	1.0	⑦ ⑧ × 50			
				張間 Y	49153.7	44668.3	1.000	1.10	q = 0.95 × 1.0 = 0.95				0.75 > q > 0.3 直線補間 q ≤ 0.3 0.3	
		1	剛性率 R <sub>s</sub>	層間変形角の逆数 r <sub>s</sub>		r <sub>s</sub> の相加平均値 $\bar{r}_s$		R <sub>s</sub> = r <sub>s</sub> / $\bar{r}_s$		Rsの最小値	判別式		1.0	①
				桁行方向 X	張間方向 Y	桁行方向 X	張間方向 Y	桁行方向 X	張間方向 Y					
		1	偏心率 R <sub>e</sub>	偏心距離 e		弾力半径 r <sub>e</sub>		R <sub>e</sub> = e / r <sub>e</sub>		Reの最大値	判別式		1.0	②
				桁行方向 X	張間方向 Y	桁行方向 X	張間方向 Y	桁行方向 X	張間方向 Y					
		1	(d) (*) コンクリート 圧縮強度 k	試験区分	① 梁 1	② 梁 2	③ 梁 3	④ 梁 4	平均値 F <sub>c</sub>	k = F <sub>c</sub> / 20	判別式		1.0	③
				コア試験	24.4	23.7	24.8	19.7	23.2	1.16				
		3	② 層間変形角 θ	層間変位 δ		階高 h		θ = δ / h		θの最大値	判別式		1.0	④
桁行方向 X	張間方向 Y			桁行方向 X	張間方向 Y	桁行方向 X	張間方向 Y	θ ≤ 1/200 1.0 1/200 < θ < 1/120 直線補間 θ ≥ 1/120 0.5						
0.85	③ 基礎構造 β	種別指数 u		形状寸法		鉛直荷重 P		支持力 R <sub>a</sub>		耐力指数 β		判別式	評点	
		木杭	0.8	RC杭	2-300φ	736.8	696.3	0.85	β ≥ 1.0 1.0 1.0 > β > 0.5 直線補間 β ≤ 0.5 0.5					
		RC杭	① 0.9	その他	L=3.0m									
1.0	④ 構造使用材料	粗骨材 (砂利)		細骨材 (砂)		評価		評点	⑤	⑥ (⑦ × 20)				
		川(山)砂利	塩分を含んだ砂利	軽石	川(山)砂	塩分を含んだ砂	軽石				(1.0) + (1.0) / 2 = 1.0			

保存度	① 経過年数 t	判別式		評点		評点合計					
		T = (47-t) / 47 = (47-44) / 47 = 0.06		0.06			⑦ (⑦ × 30) = 1.8点				
		② コンクリート中性化深さ及び鉄筋かぶり厚さ	部位		平均値 a		判別式		評点		
			柱1(柱脚)	梁1	柱2(柱頭)		梁2	2.9	a ≤ 1.5cm 1.0 1.5cm < a < 3cm 直線補間 a ≥ 3cm 0.5	0.53 8.0点	
		③ 鉄筋腐食度 F	部位		平均値 b		判別式		評点		
			柱頭	柱脚	梁1		梁2	5.1	b ≥ 3cm 1.0 3cm > b > 1.5cm 直線補間 b ≤ 1.5cm 0.5	1.00 10.0点	
		④ 不同沈下 φ	部位		平均値 F		判別式		評点		
			柱	梁	F = (0.8 + 0.8) / 2 = 0.80		φ ≤ 1/500 1.0 1/500 < φ < 1/200 直線補間 φ ≥ 1/200 0.5		0.80 12.0点		
		⑤ ひび割れ C	部位		平均値 C		判別式		評点		
			柱	梁	C = (0.5 + 0.5 + 0.8 + 1.0) / 4 = 0.7		φ ≤ 1/200 1.0 1/200 < φ < 1/100 直線補間 φ ≥ 1/100 0.5		0.7 10.5点		
⑥ 火災による疲弊度 S	部位		平均値 C		判別式		評点				
	柱	梁	C = (0.5 + 0.5 + 0.8 + 1.0) / 4 = 0.7		S = 0 1.0 0 < S < 1 直線補間 S = 1 0.5		0.7 10.5点				

外力条件	① 地震地域係数		② 地盤種別		③ 積雪寒冷地域		④ 海岸からの距離		評価		評点
	四種地域	1.0	一種地域	1.0	その他地域	① 1.0	海岸から8kmを超える	① 1.0	① + ② + ③ + ④ / 4		
	三種地域	0.9	二種地域	① 0.9	二級積雪寒冷地域	0.9	海岸から8km以内	0.9	0.8 + 0.9 + 1.0 + 1.0 / 4		
	二種地域	0.85	三種地域	0.8	一級積雪寒冷地域	0.8	海岸から5km以内	0.8	0.8		